

製品名: Ctip1 (6S12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe09505**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	91kDa

抗原情報

遺伝子名	BCL11A
別名	EVI9; CTIP1; ZNF856; HBFQTL5; BCL11A-L; BCL11A-S; BCL11a-M; BCL11A-XL;
遺伝子 ID	53335.0
SwissProt ID	Q9H165
免疫原	ヒト Ctip1 の組み換えタンパク質

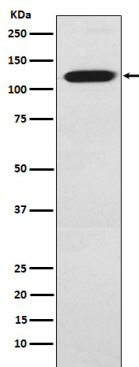
背景

骨髄系および B 細胞のプロトオンコゲンとして機能する。白血病原性および造血において重要な役割を果たす可能性がある。リンパ球産生の必須因子であり、胎児肝臓における B 細胞形成に必要である。ARP1 の転写抑制活性の調節因子として機能する可能性がある。転写因子 (PubMed:16704730、PubMed:29606353) 。BAF SWI/SNF クロマチンリモデリング複合体 (PubMed:23644491) と関連する。HBG1 ヘモグロビンサブユニット γ -1 遺伝子 (PubMed:29606353) の遠位プロモーターを含む標的遺伝子の制御領域にある 5'-TGACCA-3' 配列モチーフに結合する。おそらく HBG1 の直接的な抑制を介して、 γ -グロビンから β -グロビンへの発達のスイッチの制御に関与する。したがって、胎児ヘモグロビン (HbF) レベルを間接的に抑制する (PubMed:29606353, PubMed:26375765) 。脳の発達に関与する (PubMed:27453576) 。造血において役割を果たす可能性がある (類似性による) 。胎児肝臓における B 細胞形成に必要なリンパ球産生の必須因子 (類似性による) 。NR2F2 の転写抑制活性の調節因子として機能する可能性がある (類似性による) 。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の Ctip1 発現のウェスタン プロット分析。